



大本益之議員

病児・病後児保育事業の充実を

議員 働く親にとって、子どもが病気になった時に安心して預けられる場所があることは仕事と育児の両立に欠かせないが、本市の病児・病後児保育事業の現状と今後をたずねる。

市長 病気療養中の児童を保育する病児対応型は笠岡第一病院に業務委託している。利用実績は毎年増加傾向にあり、今後も増加が見込まれる。病気回復期の児童を保育する病後児対応型は、富岡保育園に業務委託している。利用実績は安定していて、今後も同様に推移していくものと考えている。病児・病後児保育事業は重要な子育て支援サービスと位置付けており、引き続き提供体制の確保に努め、子どもを安心して産み育てられる環境の確保を図りたい。



ファミリーサポートセンターの様子

議員 ファミリーサポートセンターのサポート体制をたずねる。

健康福祉部長 現在職員が2名体制で、提供会員と依頼会員の間を取り持つている。軽度の病後児等会員さんの家庭でお預かりする事業があるが、活用実績はわずかで、ファミサポの活用についても進めていきたい。

地域おこし協力隊制度の活用を

議員 地域おこし協力隊制度の本市での活用状況についてたずねる。

市長 本市では今まで活用事例はないが、任期終了後の48%の隊員が定住化している成果があること、加えて他地域出身者の視点による地域課題の解決や特産品の開発、移住希望者のフォローアップを担うことが期待できることから、現在、活用について検討している。



藤井義明議員

テニスコート整備地臨時駐車場の代替地確保を

議員 総合スポーツ公園内テニスコートが平成27年度には、オープンとなり、現在使われている臨時駐車場（テニスコート建設予定地）がなくなる。ビッグな大会では、多目的広場を駐車場として使用している。今後テニス大会、体育館で行われるバレーボール大会等、また来年夏に行われる総体等において駐車場の不足が懸念されるが、現状と、今後の対策等たずねる。

市長 一体化のための通路整備については多くの課題があると考えている。

議員 課題はあるが、県と話し合う考えがあるのかたずねる。

建設産業部長 やってできないことではないが、資金投入して、あえてリスクを冒す必要があるかという点、私は余り必要性は感じていない。

市長 多目的広場の利用台数を増やすことで対応できると考えている。

議員 総合体育館横西駐車場に入ってきた車が、スムーズに他の駐車場に移動できるように、総合体育館横西駐車場と中央第1・2駐車場との一体化はできないかたずねる。

市長 通常の利用では必要数を満たしていると考えている。



臨時駐車場